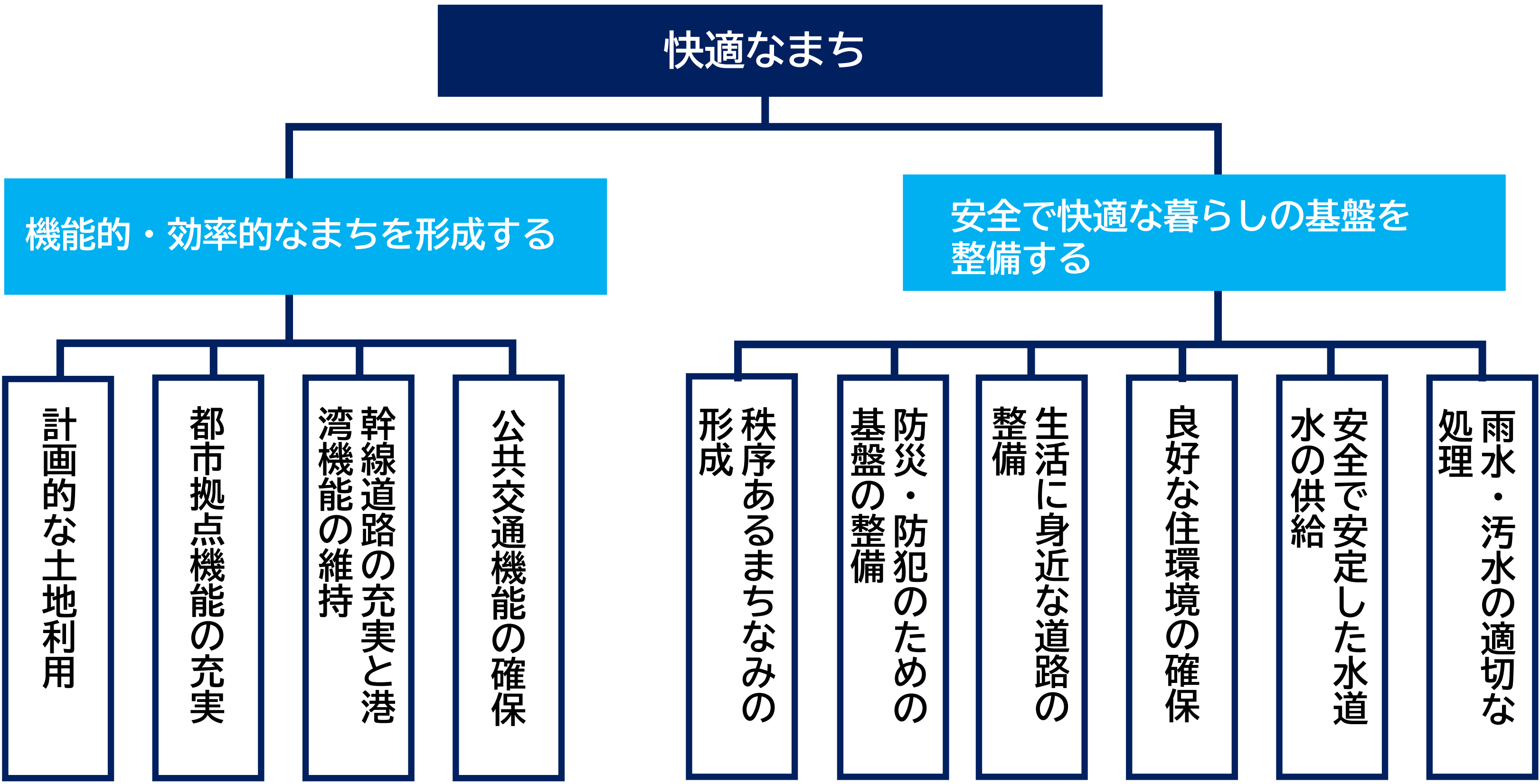


加古川市総合計画審議会 第2部会第1回資料

# 基本目標4 快適なまち

# 快適なまちを達成するための10の施策



# 各施策の構成と本日の論点

基本方針（基本的な考え方）



現状と課題（社会情勢と今後の課題）



施策の方向性（今後5年の重点方向）

## 本日はいただきたいご意見

- ✓ 課題認識に不足している点はないか
- ✓ 今後の方向性として適切か
- ✓ 追加すべき視点や表現はないか

# 計画的な土地利用

基本方針：地域の特性に応じた土地利用を誘導し、居住・産業・自然が調和した持続可能なまちづくりを推進する。

持続可能な都市構造への転換

柔軟で実効性のある土地利用  
ルールを整備



集約型都市構造への転換の推進

地域特性を生かした土地利用  
の推進

拠点集約・連携型都市構造への転換、柔軟な土地利用を促進

# 都市拠点機能の充実

基本方針：地域のにぎわいと利便性を高め、人が集い続ける魅力ある都市拠点の形成をめざす。

再整備に向けた回遊性や滞在性を高める取組、将来を見据えたまちづくりの検討

各地域の特性に応じた機能の充実

公共の場の機能と良好なまちなみの確保



都心・副都心の機能充実

地域拠点の機能充実

駐輪・駐車場対策の推進

地域特性に応じた拠点整備、各鉄道駅周辺の自転車対策

# 幹線道路の充実と港湾機能の維持

基本方針：円滑な道路交通の拡充と港湾機能の維持により、各地域との交通を担い、地域経済の発展を支える基盤を形成する。

幹線道路ネットワークの強化

幹線道路の整備

防災対策、良好な景観の維持

東播磨港の機能維持と防災性の向上

神吉中津線など幹線道路の整備、防災施設の適切な維持管理、景観維持活動を推進

# 公共交通機能の確保

基本方針：地域の実情に応じた持続可能な公共交通を確保する。

効率的な運営の仕組みづくり

公共交通空白地域の解消、乗務員不足の深刻化



持続可能な公共交通網の再構築

公共交通サービスの維持と効率化

交通事業者をはじめとした多様な主体と連携、既存バス路線の見直しや運行形態の工夫

# 秩序あるまちなみの形成

基本方針：秩序あるまちなみと良好な景観を形成し、安全で快適に暮らせるまちづくりを推進する。

快適で機能的な都市環境の  
実現

市民や事業者と協働し、良好  
な景観の維持・形成



面的整備事業等の推進

良好な景観形成の推進

面的な整備手法も視野に入れた検討、屋外広告物の適正な規制・誘導や理念の普及啓発

# 防災・防犯のための基盤の整備

基本方針：災害や犯罪、交通事故から人々の命と暮らしを守る基盤を整備する。

狭あい道路の解消や住宅・多数利用建築物の耐震化の促進

河川改修や流域治水対策

犯罪や交通事故の未然防止



防災基盤整備等の推進

流域治水対策の推進

交通安全施設等の整備

防犯基盤の維持

総合的な防災対策の推進、防犯灯の計画的な更新と維持管理

# 生活に身近な道路の整備

基本方針：市民の生活を支える道路の安全性を確保する。

危険箇所の改善・安全性の確保

維持更新費の増大



道路の整備・改良

道路・橋梁の維持管理

地域内道路の整備・拡幅、道路・橋梁の補修・予防保全

# 良好な住環境の確保

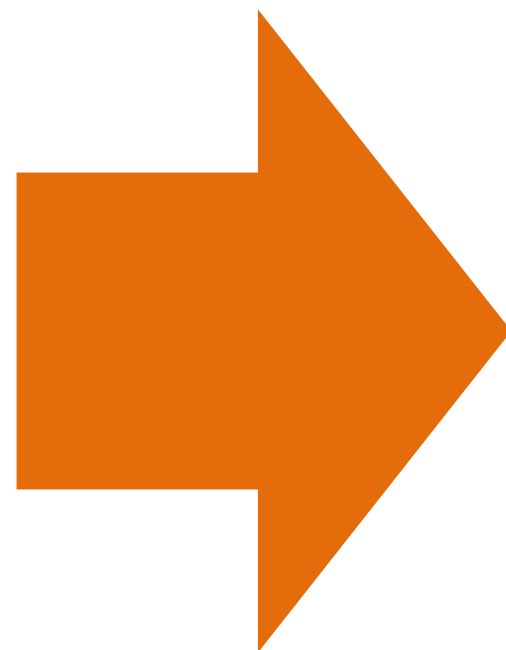
基本方針：誰もが安心して暮らせる住まいと将来にわたって住み続けられる良好な住環境を確保する。

住宅の確保が困難な世帯の増加

市営住宅の老朽化の進行

空き家増加

マンションの維持管理の適正化等  
に向けた取組の強化



市営住宅の安定的な供給

住宅確保要配慮者への  
住まいの確保

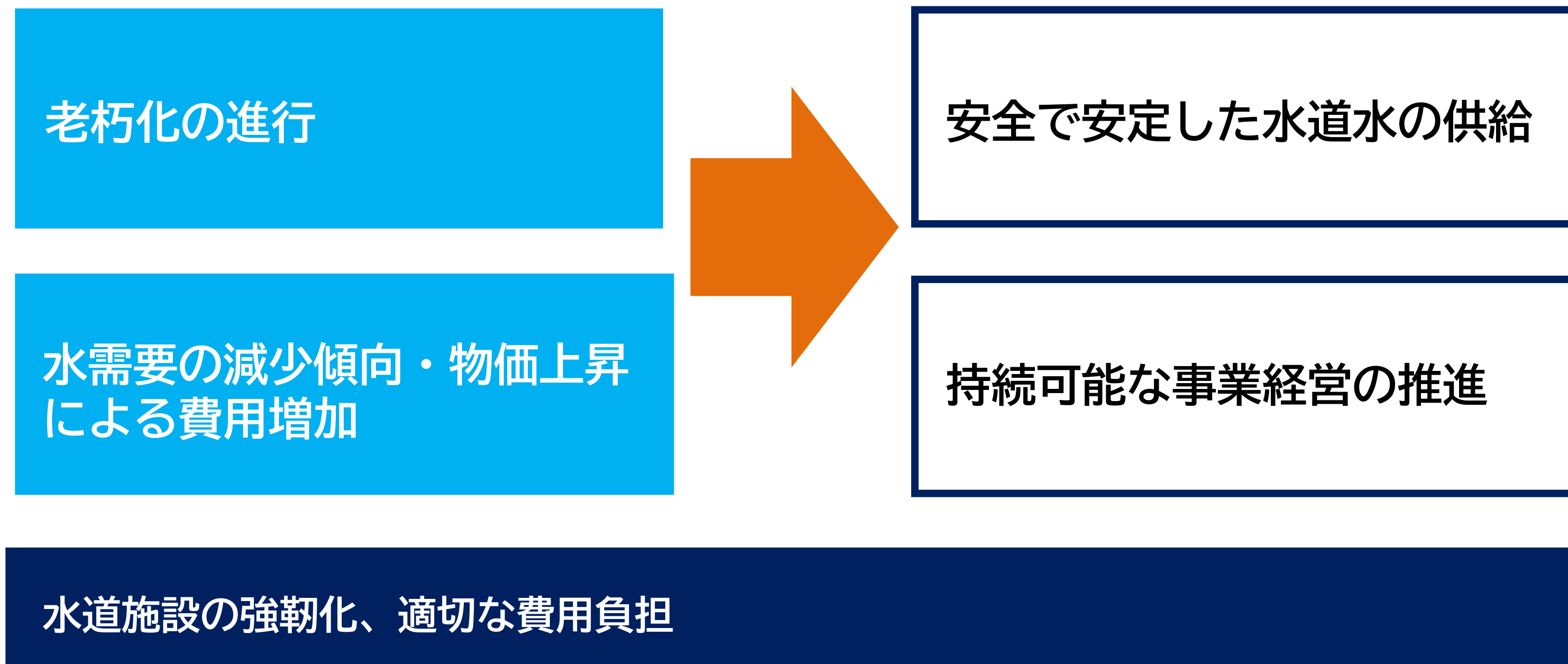
空き家対策の総合的推進

マンション管理適正化の推進

指定管理者制度を活用、事業者との連携

# 安全で安定した水道水の供給

基本方針：将来にわたって、安全で安心な水を安定的に供給する。



# 雨水・汚水の適切な処理

基本方針：下水道機能を維持し、安全で衛生的な生活環境を確保する。

経年による老朽化対策

浸水被害の軽減

施設更新に伴う費用増加



下水道機能の安定的な維持・更新

雨水対策の推進

持続可能な事業経営と官民  
連携の推進

下水道施設や管路の更新や耐震化、ウォーターPPP